

Pharmaizm

ファルマイズム

株式会社 ファルマ

弘前市北横町19-1 Tel 0172-37-6016(代)
発行：編集委員会 印刷：小野印刷所
■新年号(12月1月合併)



賀正 二〇一八年

新年のご挨拶

代表取締役 石川 隆之



あけまして
おめでとうご
さいます。本
年も昨年同様
よろしくお願

いたします。

安倍首相は昨年9月に衆議院を解散し解散総選挙を行いました。この解散に大義はありませんでした。森友・加計学園問題隠しの解散だったことは言うまでもありません。この解散直前にも内閣改造などで目先をかわしたり必死に追及逃れをしてきました。また消費税を10%に増税するにあたり、使い道を問ひ、教育無償化のために使うと言ひ出しています。森友・加計学園など安倍首相のお友達には国家予算からタダ同然で土地を払い下げたり、国家予算を無駄遣いしておきながら、教育はもとより医療・介護・福祉にはお金を出し渋っています。消費税の使い道として、元々福祉関係には使う気などなかったと言えます。消費税を増税しなくとも富裕層からの増税などで福祉に向けた財源は十分確保出来るはずです。

また昨年の衆議院選挙は結果だけみれば自民党が勝利したように見えますが、野党の分裂などによる消極的支持にほかなりません。そんな中、現憲法を守る立場の政治勢力の躍進など希望の光が見えたのも事実です。立憲主義や現憲法を守るような勢力と幅広い市民の連合により情勢を切り開いて行かなければなりません。

ん。アベノミクスによって滴り落ちてくるはずの恩恵は少なくとも、ここ青森県に於いては感じることはできません。アベノミクスはとくに失敗しているのです。医療・介護・社会保障分野に手厚く、弱者にやさしい政治を実現させるため自治体交渉を行うなどの努力をしています。さて昨年10月に、新健生病院・健生クリニックのオフィスアルカディア地区での医療活動が開始されました。弊社に於いてもそれに合わせ「ファルマ弘前薬局」での医療活動を開始しました。地域の皆様・生協組合員の皆様・関係団体の方々・工事関係者の方々など多くの人たちの支援に支えられファルマ弘前薬局は順調な滑り出しをみせています。本当にありがとうございます。この場を借りて感謝申し上げます。まだ開始して日も浅く、利用者様にはご迷惑をおかけしていることが多々あるかと思ひます。今後は利用者様のご意見を伺うなどし、さらに利用しやすく地域に必要とされるため「健康サポート薬局」となる準備を開始したいと思っております。

この間、政府やマスコミを通じて保険薬局バッシングが行われ続けています。私たちはバッシングに負けることなく、これまでに行ってきた医療活動に確信をもち、さらに医療活動を発展させ、真に患者様や地域住民に寄り添った「かかりつけ薬局」を目指し頑張ります。平和の問題や社会保障の充実、ひいては誰もが安心して住み続けられるまちづくりを目指し今年も努力していきます。弊社の全6店舗の薬局を重ねてよろしく願ひいたします。

新年

新年のご挨拶



あけましておめでとうございます。昨年のご挨拶で薬剤師業務は「モノ」から「ヒト」への移行を意識する必要があると書きましました。実際、正確で迅速な調剤の追求に加えて、様々な生活問題を抱えた方の暮らしの質の向上を目指す服薬説明や処方提案、それらに関わる多職種への情報提供など薬局に求められる機能や薬

これは地域アンケートを踏まえたものです。実際、利用している患者様からは、感謝の言葉と激励の言葉もいただき、身が引き締まる思いです。私たちは、地域第一の「地域から求められる薬局づくり」に挑戦することにしました。門前薬局から面分業への展開、在宅業務、健康サポート薬局として健康教室の開催など厚労省の「患者のための薬局ビジョン」に合致するモデル

これからの利用者様や地域の皆様の健康をしっかりとサポートできる薬局を目指して職員一同、力を合わせて努力します。今年もよろしくお願ひ致します。

11月18日(土)〜19日(日)、第42期全日本民医連教育委員長・教育担当者会議に参加しました。全国から125名が参加し、教育活動の視点から憲法を守る運

9年に文科省が高校生の政治活動を禁止し、政治教育を規制したことが、主権者意識の低い、政治的教養の貧困な有権者を大量に生み出した要因であると、政治教育が求められています。



工藤事務長



藤代薬局長 木村 匡宏

あけましておめでとうございます。今年の4月には診療報酬・介護報酬の同時改定があり私たち薬局職員にとって厳しい情勢は続くと思いますが、薬局や地域の現場で私たちがやるべきことは変わりません。

これからの多様なニーズに対応される薬局であり続けられるよう職員一同、日々研鑽を積み重ねていこうと思ひます。

11月18日(土)〜19日(日)、第42期全日本民医連教育委員長・教育担当者会議に参加しました。全国から125名が参加し、教育活動の視点から憲法を守る運

9年に文科省が高校生の政治活動を禁止し、政治教育を規制したことが、主権者意識の低い、政治的教養の貧困な有権者を大量に生み出した要因であると、政治教育が求められています。



実際に副作用報告を入力している真剣な様子の澁谷薬剤師

あけましておめでとうございます。昨年10月22日(日)投票の衆院選で、自民公明両党は310議席以上、つまり憲法改正の発議に必要な3分の2の議席を確保しました。このまま行けば安倍政権の改憲スケジュールは計画どおり、今年の通常国会で発議される

政府は「戦争する国づくり」と一体に「税と社会保障の一体改革」として社会保障全面改革プログラムを進めています。その本質は、権利としての社会保障を否定し自助、自立と家族相互の助け合いを社会保障の基本とする改革なのです。

国にとって安上がりで効率的な体制づくりが着々と進められています。

11月11日(土)〜12日(日)に行われた北海道・東北地協2017年度中堅薬剤師研修会に参加しました。

まず初めに、民医連副作用モニターの歴史や今までの取り組みについて聴きました。民医連副作用モニターは制度発足後40年が経ったということに驚きました。

2日目は青森で行われている副作用モニター委員会の取り組みについて、あおもり協立病院の福士さんからお話がありました。



実際に副作用報告を入力している真剣な様子の澁谷薬剤師



ファルマ浪岡薬局 薬局長 福士 隆政

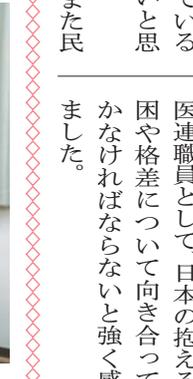
9条は「最後の砦」です。何としても憲法改悪を阻止し、安保法制、共謀罪法を廃止したいと思ひます。

昨年、私共ファルマ浪岡薬局には、一人暮らしの老人で薬の管理が上手く出来ない相談から、津軽医院、ケアマネージャー、ヘルパーさんと協力して介入することが出来た患者様がありました。

11月11日(土)〜12日(日)に行われた北海道・東北地協2017年度中堅薬剤師研修会に参加しました。

まず初めに、民医連副作用モニターの歴史や今までの取り組みについて聴きました。民医連副作用モニターは制度発足後40年が経ったということに驚きました。

2日目は青森で行われている副作用モニター委員会の取り組みについて、あおもり協立病院の福士さんからお話がありました。



講師の馬渡耕史副会長

あけましておめでとうございます。昨年私たちは、健生病院・健生クリニックが移転しても従来の弘前調剤センターは閉めることなく、営業継続を決断しました。

これは地域アンケートを踏まえたものです。実際、利用している患者様からは、感謝の言葉と激励の言葉もいただき、身が引き締まる思いです。私たちは、地域第一の「地域から求められる薬局づくり」に挑戦することにしました。

最後に、今年はいぬ年です。皆さんにとって、「わんだふるな1年でありませうように」お祈りし、新年の挨拶とします。

11月10日(金)青森市浪岡にある花岡農村環境改善センターにて行われた「医療・介護の新しい2つの柱学習会」に参加しました。

貧困と格差の広がる日本では他人を気遣う余裕もなく、自分のことで手一杯になってしまっている人への思いやりが薄れているのではないかと感じました。

日頃薬局を利用して下さる患者様の中にも、もしかしたら困っている方がいるかもしれません。



講師の馬渡耕史副会長



弘前調剤センター 薬局長 津川 俊彦

これは地域アンケートを踏まえたものです。実際、利用している患者様からは、感謝の言葉と激励の言葉もいただき、身が引き締まる思いです。私たちは、地域第一の「地域から求められる薬局づくり」に挑戦することにしました。

最後に、今年はいぬ年です。皆さんにとって、「わんだふるな1年でありませうように」お祈りし、新年の挨拶とします。

11月10日(金)青森市浪岡にある花岡農村環境改善センターにて行われた「医療・介護の新しい2つの柱学習会」に参加しました。

貧困と格差の広がる日本では他人を気遣う余裕もなく、自分のことで手一杯になってしまっている人への思いやりが薄れているのではないかと感じました。

日頃薬局を利用して下さる患者様の中にも、もしかしたら困っている方がいるかもしれません。



講師の馬渡耕史副会長

「医療・介護の新しい2つの柱学習会」に参加して

ファルマ 一ツ谷薬局

主任補佐 須藤 江利加

11月10日(金)青森市浪岡にある花岡農村環境改善センターにて行われた「医療・介護の新しい2つの柱学習会」に参加しました。講師は、全日本民医連副会長の馬渡耕史氏でした。

講演の中で印象的だったのは、『世界のプライマリヘルスケアの前進』についてです。

今の日本では病気になることも、そしてそれは個人の責任である

と考える人が多く、健康格差が広がっています。貧困に陥った人が

馬渡氏のお話の中で、「民医連だから貧困とたたかう」ということではなく、医療人として貧困

を病因病態の一つとして日常的に評価し、その「治療」をするという視点を

もった医師を養成していく。患者が抱える社会問題について患者と共に社会に声をあげ社会に働きかける。」というお言葉があり大変共感しました。

日頃薬局を利用して下さる患者様の中にも、もしかしたら困っている方がいるかもしれません。

がなかなか自分から困っていると言ってくれる方はいないと思ひます。

私も一人の人間として、また民

「北海道・東北地協2017年度中堅薬剤師研修会」に参加して

藤代薬局 薬剤師 澁谷 友明

11月11日(土)〜12日(日)に行われた北海道・東北地協2017年度中堅薬剤師研修会に参加しました。

まず初めに、民医連副作用モニターの歴史や今までの取り組みについて聴きました。民医連副作用モニターは制度発足後40年が経ったということに驚きました。

これからの長い期間での成果の一部として、ニフエジピンによる頻尿などの添付文書改訂を申し入れたそうです。その他には有名な話なので皆さんご存知だとは

思います。今でこそ当たり前になっているエナラプリルなどのACE阻害薬の空咳は民医連副作用モニターで疑われ、添付文書改訂に至ったものです。このような背景には患者さんの訴えに寄り添ってきた歴史があるからだとおっしゃっていました。

次に実際に自分で副作用を入力してみました。実際に研修会に参加した方が中堅薬剤師ということもあり、参加者は25名程と昨年の研修会と比較すると参加人数は少なかったです。しかし、今回は参加

若者の傾向とサポートの仕方を教育者が学ぶことも大切だと感じました。

政治意識を高めていく教育と「誰のため何のために存在しているのか」まさに理念教育が求められています。



実際に副作用報告を入力している真剣な様子の澁谷薬剤師

謹賀

各薬局長から



黒石薬局 局長 大川 誠也

あけましておめでとうございます。

黒石薬局では昨年も健康教室や班会、黒石よさレピースピールなど黒石診療所の組合員さんや地域の方々と関わる機会を多くもてるよう取り組みました。また、処方箋増加に伴う業務過多による8月から事務1名増員しました。

さらに岩手医科大学の学生実



ファルマ ーツ谷薬局 局長 佐藤 真由美

あけましておめでとうございます。

昨年は、津川薬局長の弘前調剤センターへ異動を受けて、10月より私が新しくファルマーツ谷薬局の薬局長となり、職員が女性のみ職場となりました。健康サポート薬局となり、これまでの取



ファルマ弘前薬局 局長 相馬 渉

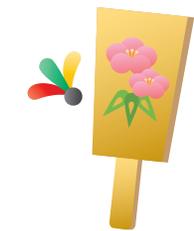
あけましておめでとうございます。

昨年は、10月に健生病院の移転とともに無事にファルマ弘前薬局を開局することができました。病院のすぐ隣に好立地条件で開局できたので、当初の予想より、

習を受け入れるなど怒涛の1年でした。これらが無事乗り越えられたのは毎日忙しい中、スタッフ全員の協力があったからだと思当に感謝しています。

今年には調剤報酬改定もあり、国民からの風当たりも強まる年になりそうです。薬剤師は患者様から見ると何をされているのか分りにくい職種です。処方箋通りにただ薬をわたすだけではなく、「お大事に」のその先に薬剤師として何が出来るかを考え実践し、今年も1年活動していきたいと思

ことを活かして、来局される患者様が気持ちよく利用できるような環境づくり、そして患者様一人ひとりに細やかな気配りができるように職員一同取り組んで参ります。本年もどうぞよろしくお願



多くの患者様に利用していただき、大変ありがたく思っております。

開局のために多くのコミュニケーションをしたことで、大きなトラブルもなく順調なすべり出しとなりました。これは職員一同みんなで協力して力を合わせたからこそできたことだと思います。これからも、患者様がまた来局したくなるような薬局づくりをしていきたいです。

今年には医療と介護の同時改定

動の交流をし、民医連の教育活動について、今日的に強化すべき課題や取り組みについて議論しました。

まず、「青年を主権者として成長させるために」と題して、首都大学東京教授の宮下与兵衛氏による講演が行われました。196

印象に残ったのは、医療と介護の相互理解のために紹介されたショートステイ利用者のエピソードです。これは医療・介護それぞれの専門性を知り活かしていくために、介護現場で出来ることを医療側に伝えるために紹介されたものです。

左変形性膝関節症の高齢女性。



11月28日(火)〜29日(水) A P 東京八重洲で開催され、過去最多となる260名の参加となりました。

2016年度決算では予算達

の経営的実践ですが、具体的には

育と高校生の政治活動の重要性を訴えました。

民主主義・立憲主義・平和主義の戦後最大の危機の日本で、なぜ若者たちは世界の若者と同じように立ち上がることができないのでしょうか。

施設では本人の希望を確認し、長期目標は家に帰ること、短期目標は歩行できることと設定し取り組みました。

具体的経過は省略しますが約半年後、この女性はいよいよ在宅復帰、現在には必要な介護を受けながらご主人と2人で生活している

成した医科法人は約1/3(52法人)しかなく、残り2/3は予算未達成となり、財務状況も悪化の一途を辿っています。



会議の様子

民医連綱領が改定されて第43期は10年目を迎えます。改めて民医連の理念教育の必要性が問われることになり

そうです。本人の望みが叶えられました。他にも寝たきりだった人、要介護5だった人が歩けるようになったという事例が3つ紹介されました。入院リ

医療での限界、介護での限界をお互いが理解し、それぞれの専門



発表している



研修会の様子

性を活かすことができればより良い結果が生まれるのだと改めて感じました。また、お互いを理解する努力とそのための場を作ることが大事だと思いました。今回感じたことを今後活かして頑張りたいと思います。

①格差と貧困に立ち向かう経営戦略と実践、②トップマネジメントとガバナンスの強化、③中長期経営計画と必要利益の確保、④医師確保が重要テーマとして提起されていま

られることとなります。株式会社ファルマも弘前薬局オープンを追い風に全薬局で更なる発展を目指していきたいと思

青森民医連では今年度に歴史的な一大事業である健生リニューアルの巨大な設備投資がありました。

2018年度から返済が始まりますが、資金計画は決して容易ではなく、今後は新健生病院の成功に向けて全法人・事業所の奮闘が求め

青森県薬剤師会学術大会

ファルマ弘前薬局 薬剤師 盛 友莉恵

11月23日(木)、第36回青森県薬剤師会学術大会がホテル青森にて開催されました。テーマは「新たな時代！飛躍を指して」地域包括ケアシステムの中で求められる薬剤師」でした。

ポスター発表では、阿保香織薬剤師が「健康サポート薬局としての取り組み」という演題で発表されました。弘前調剤センターで二度行われた健康教室の様子や、健康サポート薬局となった経緯を紹介しました。「健康にかかわる情報提供の他に、薬局内を見学させる企画は新鮮だね」「健康サポート薬局になるには何が一



ポスター発表した阿保主任

つとめ、調剤薬局のゴールではありません。地域の健康意識を高め、サポートを積極的に続けることが必要です。そのためには、薬局が安心して立ち寄りやすい身近な存在でなければいけません。予防から介護まで幅広い視点と対応力をもつことが求められています。達成するには、チームの通り包括ケアシステムの構築、つまり地域社会と他職種とのつながりが不可欠です。自分が出れる地域貢献とは何かを真剣に考え、実際に関わっていきけるように頑張っていきたいと改めて思いました。

ファルマ制度教育学習会 「国保県単位化・医療介護問題」

本部 課長補佐 鈴木 健仁

11月17日(金)、21日(火)に毎年行われる制度教育の社内学習会が、石田久弘前市議会議員を講師に行われました。今年度は、国保県単位化と医療と介護の問題を中心に、普段生活していく上で問題になることが予想される身近な事例をもとにお話しされました。行政の視点からは、国保の収支を改善させる目的で、健

診受診率や後発医薬品の利用

いるそうです。 弘前市に関しては、市立病院と国立病院の統合問題があります。病床数は減り、入院から在宅・介護施設へのシフトが急速に進むことが予想されます。国保県単位化では、国保料は上がると予想されているそうです。

「自治体キャラバンに参加して」

弘前調剤センター 主任補佐 佐々木 良太



弘前市との懇談の様子

11月2日(木)に弘前市役所で行われた青森県社会保障推進協議会による自治体キャラバンに、今回初めて参加しました。会議室には長テーブルが向かい合わせで置かれていました。市役所職員との距離を感じました。

市役所側は19名、ファルマからは高松常務、館田事務長私の3名と各組織代表者合わせて13名が参加しました。質疑応答の中で一番印象に

「いま必要なこと、やらなければならぬことを考えるのはもちろん、実際に行動に移す」これが、ますます重要だと改めて感じる学習会となりました。



講師の石田弘前市議会議員

新人紹介



ファルマ弘前薬局 新入社員 奈岡 奈

初めまして、11月よりファルマ弘前薬局で働かせていただきましたことになりました。奈良岡貴子です。

以前は歯科助手の仕事をしていました。幅広い年代の患者様と接することが多い医療の現場で、また仕事ができることを嬉しく思います。

休日はお菓子を作ったり、家族と一緒に運動をしたりします。対戦ではつい熱くなり子供相手に本気を出してしまいます。

こんな私ですが、毎日1つでも多くできることを増やし、地域の皆様や会社にご貢献できるように頑張りますのでどうぞ宜しくお願いします。



ファルマ弘前薬局 新入社員 中澤 沙耶

11月からファルマ弘前薬局でお世話になっている中澤沙耶です。医療関係の仕事は初めてなのでわからないことばかりですが、優しい先輩方にご指導していただき毎日たくさん勉強させていただいております。ファルマ弘前薬局にはたくさんの患者様が来局されるのですが、先輩方の患者様に対する思いやりや温かさ、人としてすごく勉強になりました。私もそんな風に患者様に寄り添える仕事ができたいと思っております。患者様から度々お声をかけて頂くのですが、「弘前調剤センターの時から通っているんだけど新設されて綺麗になってよかったですね」「いつも親切な対応をありがとうございます。先輩方が今まで積み重ねてきた結果だと感じました。私も患者様にそう思って頂けるような対応を心がけて一日も早く戦力になれるよう日々努力したいと思います。まだまだ未熟者ですが宜しくお願い致します。

わたしのお気に入り

ファルマ弘前薬局 主任 高橋 和希

わたしのお気に入りの場所は「ライブハウス」と「フェス」です。写真はこれまでに買ったライブTシャツやフェスGOODSのほんの一部です。

モッシュって知ってますか？ライブ中に熱狂的な人が盛り上がり過ぎて巻き起こる激しいおしくらまんじゅうのことです。基本的にはピョンピョン左右に跳ねてぶつかり合っているだけです。でも、結構強めにぶつかってエルボーしてくる人もいますし、足を踏まれるのはしょっちゅう、変な水分が上から降ってきたり、上から人が降ってきたり、降ってきた人の足で顔面蹴られたり、ヌメヌメの肌が触れ合ったりするけれど、それでも大丈夫！OK！って思ったらGOしていきましょう！！それらを全て受け入れられた人にしかわからない素晴らしい世界が待っています！少し怖いと感じる人もいますが、フェスにいるキッズたちは基本的にイイ人です。転んでも手を差し伸べてくれるし、靴が脱げたり、ケータイや財布を落としてもちゃんと返ってきます。靴ヒモが解けたら、堂々と結び直しましょう！結び終わるまでモッシュに巻き込まれないようにガードしてくれますよ。

わたしは、月に1回はライブハウスやフェスに行かないとダメな体になってしまいました。ライブは麻薬です。依存性があり耐性ができます。あなたもこっちの世界に来ませんか……？



写真紹介

ファルマ共済会 親睦会

11月25日(土)アートホテル弘前シティにて、ファルマ共済会親睦会が開催されました。恒例の新会員紹介、じゃんけん大会などが行われ大いに盛り上がりました。



じゃんけん大会で大盛り上がり

弘前調剤センター 健康教室

12月9日(土)弘前調剤センターにて健康教室が開催され、15名の地域の方が参加されました。血管年齢、握力、足指力を測定した後、ファルマレンジャーと一緒に歌を歌いながら、椅子を使って体操をしました。



ファルマレンジャーと一緒に歌いながら体操中